

活動報告 (2021.1 ~ 2021.12)

(1) 所員会議 (メール会議)

第1回 2021年5月13日(木)
議題

1. 2020年度事業報告および決算報告について
2. 2021年度事業計画および予算について
3. 総合郷土研究所構成員の加入・継続申請について

(2) 運営委員会 (Web会議)

第8回 2021年2月10日(木)
議題

1. 運営委員退職予定者について
2. 2021年度非常勤所員および研究員の継続について
3. 購入希望図書について
4. その他

第1回 2021年4月8日(木) (Web会議)
議題

1. 2020年度事業報告および決算報告について
2. 2021年度事業計画および予算について
3. 総合郷土研究所構成員の加入について
4. 研究費申請について
5. 図書等購入申請について
6. 2022年度ブックレット執筆希望者の募集について
7. 2021年度運営委員の役割分担について

第2回 2021年6月10日(木) (Web会議)
議題

1. 研究費執行について
2. 図書等購入について
3. 2021年度紀要第67輯の発行について

第3回 2021年7月9日(水) (メール会議)
議題

1. 2021年度科学研究費申請について

第4回 2021年7月29日(木) (Web会議)
議題

1. 2020年度目的別事業評価について
2. 2021年度紀要第67輯執筆者について
3. 2022年度ブックレット執筆者について
4. 図書等購入について

第5回 2021年9月30日(木) (Web会議)
議題

1. 2021年度補正予算について
2. 2022年度新規事業予算について

第6回 2021年10月28日(木) (Web会議)
議題

1. 2022年度新規事業予算について
2. 講演会開催(案)について
3. 図書等購入について

第7回 2021年11月25日(木) (Web会議)
議題

1. 2022年度予算申請について

(3) 公開講演会

日時: 2021年1月20日

場所: 愛知大学豊橋校舎2号館2階221教室

講師: 有菌 正一郎

演題: 「三河の農書」

(4) 刊行物

愛知大学総合郷土研究所紀要第66輯

近世の矢作橋—日本—長い橋— (ブックレッ

ト 30)

愛知大学等における歴史的建造物の調査・研究・年次報告書 (特別重点研究)

愛知大学総合郷土研究所蔵文書目録 4

(5) 史料の保存と整理

2020年1月から2021年12月までおこなった取蔵史料の整理について簡単に紹介する。

2020年史料整理

1. 美濃茶業資料文書

(未整理No.20)

1988年に購入。ダンボール4箱。史料点数433点。シバンムシが発生したため、ダンボールごとに圧縮袋に入れ密封・真空処置を施した。一定期間経過後、史料を一点ずつクリーニングし、番号を付した文書封筒へ袋詰めにした。なお生きた虫を発見した史料は、防虫剤を投与したチャック付きポリ袋で密封し、文書封筒へ袋詰めした。虫の残存状況を定期的に確認しながら、適宜クリーニングを施している。(次年度継続)

2. 近江国坂田郡柏原宿問屋文書

(未整理No.35)

2008年に購入。史料点数は329点。幕末期から明治にかけての人馬駄賃など宿場に関する史料を収録。特に大名家先触や書状箱を始めとした諸荷物の受取状を多数収録。

3. 静岡県浜名郡篠原村鈴木家家文書

(仮史料群No.38)

1990年に購入され一部史料が既に目録化。静岡県浜名郡篠原村は現在の静岡県浜松市西区篠原町周辺。未整理史料を一点ずつクリーニングしながら文書封筒へ袋詰めした。袋詰め完了時の史料の総点数は1400点。

一部に磐田郡浦川村(現在の静岡県浜松市天竜区佐久間浦川)の史料が混在している。

残り史料の仮目録の作成は次年度へ継続。

4. (史料群名など詳細検討中)

購入履歴不明の史料2点。シバンムシが発生していたため、圧縮袋に入れ密封・真空処置を施した。一定期間経過後クリーニングを施し、防虫剤と共に和紙で包装し、圧縮袋に入れて再び密封した。虫の残存状況を定期的に確認しながら、適宜クリーニングを施している。(次年度継続)

5. 幡豆郡家武村近藤家・愛知郡下之一色村正雲寺・静岡県志太郡和田村村上家ほか混在文書

(仮史料群No.304)

1990年に古書店より購入した3箱の内の2箱。クリーニングを施しながら仮封筒への袋詰めをおこなった。1箱は2019年に整理済み。

6. 八名郡三上村赤川家文書

(仮史料群No.287)

9箱あるうち5箱目と6箱目について仮封筒への袋詰めをおこなった。袋詰め完了時の史料点数は224点。その後、一点ずつクリーニングを施しながら文書封筒へ情報の書き込みをおこなっている。クリーニング及び情報の書き込みが終了した史料点数は現在932点。

2021年史料整理

1. 美濃国南宮社大庭家文書

(仮史料群No.305)

2021年に古書店より購入。全9点。南宮社神職として江戸城での年頭御礼の際の心得を書き留めたもの、旅日記、旅行用心覚や酒造方法等の万覚帳などがある。うち2点には「美濃南宮大庭杉能屋蔵」の蔵書印が捺してある。

2. 草鹿砥宣隆自筆写本

(仮史料群No.306)

2021年度に古書店より購入。三河国一宮砥鹿神社の神主で国学者の草鹿砥宣隆自筆の写本2点。

1点は「新祭文集」(八木美穂所蔵本の写)と「萬葉端詞例」(大久保忠尚所蔵本の写)の合冊。もう1点は、「高木主水正殿朔御使ニ付禁裡御附衆江御問合書附写」・「寛政三年公義より被仰出たる御触書之写」・「伊勢略服忌令 天明改正」の合冊で、「一宮文庫」・「榎之金門」の押印がある。

3. 吉田橋諸事覚

(仮史料群No.307)

2021年に古書店より購入。明和5年(1768)吉田大橋掛け替えに関する史料3点。1点目は宝暦3年(1753)吉田大橋掛け替え時の定杭配置図。2点目は明和5年(1768)の吉田大橋の仕様書上。3点目は川船に関する高札の写し。

4. 伊奈街道絵図面

(仮史料群No.308)

2021年に古書店より購入。明治16年(1883)9月に作成された絵図。三河国津具村(現在の愛知県北設楽郡設楽町津具)から信濃国売木村(現在の長野県下伊那郡売木村)までが描かれた絵図。

5. 遠江国豊田郡友永村絵図

(仮史料群No.309)

2021年に古書店より購入。遠江国豊田郡友永村は現在の静岡県袋井市友永。

6. 静岡県浜名郡篠原村鈴木家文書

(仮史料群 No.38)

2020年より継続。2021年より仮目録を作成。史料点数は285点(総点数1602点)。総点数1602点のうち376点は磐田郡浦川村の

史料。書き損じや下書きが多い。

磐田郡浦川村の史料は、競市や種馬購入など近代の馬に関する史料が収録されている。浜名郡篠原村の史料は、水産養殖に関する史料や鈴木家の保険に関する史料などが収録されている。

7. (史料群名など詳細検討中)

購入履歴不明の史料2点。2020年より密封・真空処置とクリーニングを施した。虫の残存状況を定期的に確認しながら、適宜クリーニングを施している。(次年度継続)

8. 歩兵第十八聯隊軍医酒井幹旧蔵資料

(未整理No.30)

2003年に古書店より購入。歩兵第十八聯隊に所属していた医師酒井幹が旧蔵した史料。史料点数98点(総点数123点)。日露戦争出征時の陣中日記や現地での診療や風景を記録した手帳などを収録。

9. 未整理 No.10

購入経歴及び出所不明。未整理⑳のダンボール箱に一括されていた。2020年に密封・真空処置を行い、2021年より適宜クリーニングを施しながら文書封筒へ袋詰めをした。ダンボール内は箱などで史料がまとめられていたため、箱単位で枝番を付したうえで仮目録を作成した。史料点数は408点(総点数437点)。

未整理 No.10-1 宝古加美集

史料点数45点。和歌を中心に「宝古加美集」と書かれた冊子に貼り付けられている。

未整理 No.10-2 (書状類貼込)

史料点数50点。和歌や森長明宛の書状などが冊子に貼り付けられている。

未整理 No.10-3 (書状類貼込)

史料点数 46 点 (総点数 47 点)。和歌や森長明宛書状、尾州商人の (美濃屋) 武山勘七郎宛書状などが冊子に貼り付けられている。

未整理 No.10-4 古い手紙いろいろ

史料点数 119 点 (総点数 139 点)。尾州商人の (美濃屋) 武山勘七郎に関する書状などを収録。

未整理 No.10-5

史料点数 115 点 (総点数 123 点)。尾州商人の (美濃屋) 武山勘七郎に関する書状や羽黒新田の年貢受取通帳、尾州廻船問屋野尻屋理右衛門に関する史料などを収録。また美濃の交代寄合高木家に関する史料も混在している。

未整理 No.10-6 (尾張国新尾頭橋町文書)

史料点数 33 点。尾州廻船問屋野尻屋理右衛門に関する史料を収録。

10. 未整理 No. 7

「前林 中根村」と墨書された木箱に入っていた史料群。「天満 62.10.06」のメモあり。一部に幡豆郡平坂村榎本家文書が混在。

シバンムシが発生したため、2020 年より密封・真空処置を施した。一定期間経過後、史料を一点ずつクリーニングし、番号を付した文書封筒へ袋詰めにした。なお生きた虫を発見した史料は、防虫剤を投与したチャック付きポリ袋へ個別に入れて密封した。

一部史料は甚大な虫損のため分離不可と判断し、分離できた塊ごとにチャック付きポリ袋に入れ、番号入りの紙を付して現状を記録し、圧縮袋に入れて全体を密封した。

11. 美濃茶業資料文書

(未整理 No. 20)

2020 年より継続。ダンボール 4 箱 (26~29)。

同年より密封・真空処置とクリーニングを施し、番号を付した文書封筒へ袋詰めした。袋詰め完了時の史料点数 433 点。

2021 年より虫の残存状況を確認しながら、箱 26 の仮目録を作成。箱 26 の史料点数は 180 点 (総点数 404 点)。仮目録作成は次年度へ継続。

12. 海津郡高須町吉田家文書

(未整理 No. 17)

1993 年に古書店より購入。ダンボール 10 箱と文書箱 1 箱。未整理のためクリーニングを施しながら文書封筒へ袋詰めを行っている。作業中に新たな虫損の痕跡を発見した史料は、防虫剤を投与したチャック付きポリ袋で密封し、文書封筒へ袋詰めした。袋詰め・仮目録作成は次年度へ継続。

13. 八名郡三上村赤川家文書

(仮史料群 No.287)

段ボール 13 箱と衣装ケースひと箱。

「8/9」と札が付された衣装ケース内の史料が未整理だったため、クリーニングを施しながら文書封筒へ袋詰めを行った。

前年度の文書封筒への袋詰めをおこなった 2 箱に加え、新たに 5 箱分の史料について一点ずつクリーニングを施しながら文書封筒へ袋詰めを行い、その後情報の書き込みをおこなっている。袋詰めが終了している史料は現時点で 1993 点。

(6) 展示

1. 絵地図あれこれ

期間：2021年6月21日(月)～9月10日(金)

会場：豊橋校舎大学記念館



2. 奥三河をつなぐ乗本村の水運

期間：2021年10月11日(月)

～2022年1月28日(金)

会場：豊橋校舎大学記念館



(7) 所蔵史料の活用

1. 見学

科目名：地域史料講読（地域政策学部）

担当教員：橘敏夫

2021年10月21日（木）開講の第5回実物史料をみる（1）にて三河・遠州地域の街道などが描かれた浮世絵を展示し、受講した学生らには実際に史料を手で触れてもらった。

2021年11月18日（木）開講の第9回実物史料をみる（2）にて弊所所蔵の高札を展示し、受講した学生らには実物史料を見て触れてもらった。

2. 研究

2021年6月25日（金）より愛知大学国際問題研究所が「愛知大学貴重資料デジタルギャラリー」の運用を開始。弊所にも絵図類を中心に随時所蔵史料の提供を行っている。2021年時点で143点が公開。

（荒木亮子・田中博久・藤島夢花）